

大会宣言（案）

愛労連は、第25回定期大会を開催し、この1年間の取り組みや県民との共同のたたかいを総括した。そして大会での議論を通じて21世紀の新時代を築く愛労連の責務を明らかにした。

この1年、自公保連立政権の推進する悪政と大企業によるリストラ「合理化」の嵐が吹きあれた。340万人という史上最悪の失業者、若者の就職難、労働者の実質賃金の低下、過労死・過労自殺の続発、未権利状態のパート・臨時・派遣の増大など、労働者・国民の生活悪化はさらにすすんだ。

失政・悪政を重ねた森内閣のあと誕生した小泉内閣は、「自民党を変えたい」「政治を変えたい」という国民の願いを背に、異常な程高い支持率を得ている。しかし発足から2ヶ月、小泉内閣の言う構造改革が明らかになってきた。そのなかみは、不良債権処理で中小企業20万件的倒産、失業者100万人の増大（民間の経済研究所の試算）、消費税の引き上げ、医療保険の改悪など労働者・国民に痛みを押しつける以外なものでもない。さらに有事立法の策定、集団的自衛権の行使など平和と民主主義を脅かし日本をアメリカの戦争に巻き込む策動を強めている。

県下でも三菱自動車大江工場の閉鎖、UFJ銀行の発足にともなう東海銀行のリストラ計画、史上最高の利益を上げたトヨタもリストラがすすんでいる。神田県政は、「財政危機」にも関わらず万博・空港など巨大な税金を投入する一方で、県職員の賃金切り下げ、県民生活に直結する補助金・助成金を大幅にカットし県民犠牲を強いている。

しかしこれらの攻撃は、労働者・国民との矛盾をいっそう深めている。名古屋長選挙を前に取り組んだ「市民の税金を万博や空港、徳山ダムへ使うことの是非を問う」直接請求署名は、ムダな公共事業への税金投入反対の世論を広げた。また、全労連の「ただ働き・サービス残業」をなくせの粘り強いたたかいが厚生労働省通達を出させた。労働相談件数は年間500件と増え、駆け込み寺としてのセンターの役割を果たし、労働相談から始まったヒット通商支部の組合結成など、組合に加入したたかう仲間も増えてきた。近藤団体生命保険の勝利、国の責任を認め「公害差し止め」を命じた名古屋南部大気汚染公害訴訟などの前進も切り開いてきた。

情勢はたたかってこそ切り開かれる。そして共同の条件はさらに大きくなっている。

大会では、①働くルールの確立をめざし、「総対話と共同」を広げる。②税金の使い道を改めさせ社会保障の充実、国民生活擁護のたたかいをすすめる。③10万人愛労連に向けた組織拡大・強化、の3つの柱で全力をあげてたたかうことを確認した。

この10年間のたたかいで切り開いてきた運動の前進に確信を持ち、職場と地域を基礎にすべての県民と労働者との対話と共同をいっそう広げよう。

職場・地域から共同をすすめ、県民過半数を目標にこの秋から働くルールの確立署名を広げよう。愛知万博をやめさせ県民の暮らしを守る運動に奮闘しよう。賃金の底上げ闘争を強化し、2002年国民春闘に勝利しよう。

パート・臨時など不安定雇用労働者も視野に入れて、要求を実現するために10万人愛労連の建設に単産・地域労連のすべての力を結集しよう。

2001年7月8日

愛知県労働組合総連合第25回定期大会

愛労連2002年度役員候補者名簿

愛労連選挙管理委員会

役職名	氏名	出身単産・地域等	年齢	略歴（最近のもの）
1 議長	見崎 徳弘	愛高教	56	1981.4～愛高教副委員長(現在に至る)。1989.11～愛労連副議長、1997.9～同事務局次長(現在に至る)
2 副議長	伊豆原 直	自治労連愛知県本部	57	1995.8～自治労連県本部執行委員長、1998.8～同特別執行委員(現在に至る)。1998.9～愛労連副議長(現在に至る)
3 "	小松 孝二	愛知国公	57	1988.10～91.9 全厚生本部副委員長/書記長。2000.10～愛知国公副議長、2001.1～愛労連副議長(現在に至る)
4 "	小松 民子	愛知県医労連	50	～愛知県医労連副委員長(現在に至る)。～2000.7.15愛労連婦人協副議長
5 "	羽根 克明	自治労連愛知県本部	52	～1999.6 自治労連副委員長など。1999.7～自治労連県本部委員長、1999.9～愛労連副議長(現在に至る)
6 "	平田 茂	尾中地区労連	52	1989.9～尾中地区労連副議長。1992.9～同事務局次長(現在に至る)。1989.11～愛労連幹事(現在に至る)
7 "	柿内 公子	婦人協(自治労連)	53	1999.7～自治労連県本部副委員長、2001.7～同女性部副部長。1999.7～2001.6 愛労連婦人協副議長(現在に至る)
8 "				
9 事務局次長	樽松 佐一	生協労連愛知県協議会	45	1989.～生協労連県協議会議長(現在に至る)。1997.9～愛労連幹事、2000.9～同事務局次長(現在に至る)
10 事務局次長	伊藤むつを	建交労愛知県本部	53	1986.9～建設一般県本部特別執行委員。1989.11～愛労連幹事、1994.9～同事務局次長(現在に至る)
11 "	吉良多喜夫	自治労連愛知県本部	47	1995.8～自治労連中央執行委員(現在に至る)。
12 幹事	栗生 政男	岡崎・額田地域センター	53	～岡崎・額田地域センター議長(10期・現在に至る)。2000.9～愛労連幹事(現在に至る)
13 "	板倉 邦之	年金者組合愛知県本部	66	1997.5～年金者組合愛知県本部書記次長、1999.5～同執行委員。1999.9～愛労連幹事(現在に至る)
14 "	牛田 正美	全印総連愛知県本部	51	1989.～全印総連愛知県本部委員長(現在に至る)。1989.11～愛労連幹事(現在に至る)
15 "	梅野 敏基	自治労連愛知県本部	50	2000.7～自治労連県本部書記長(現在に至る)。2000.9～愛労連幹事(現在に至る)
16 "	太田 孝雄	タクソン協議会	58	1996.9～愛自交書記長(現在に至る)。1996.9～愛労連幹事(現在に至る)
17 "	尾崎 吉政	東三河労連	54	1990.～東三河労連事務局次長(現在に至る)。1998.9～愛労連幹事(現在に至る)
18 "	小野 能弘	検教労連名古屋支部	56	1996.9～検教労連名古屋支部副委員長(現在に至る)。1999.9～愛労連幹事(現在に至る)
19 "	木柑子春信	建交労愛知県本部	51	1999.10～2000.9 建交労愛知県本部書記次長、2000.9～同副委員長(現在に至る)
20 "	河井 孝徳	愛知県地域労組きずな	51	1987.10～愛知県地域労組きずな書記長。1996.5～愛知共済会専務理事。1990.9～愛労連幹事(現在に至る)
21 "	国村 忠文	全国一般愛知県地方本部	49	1990.10～全労連全国一般愛知県本部書記次長、1996.10～同書記長(現在に至る)。1990.9～愛労連幹事(現在に至る)
22 "	近藤 啓志	愛高教	51	1996.4～愛高教書記次長、1998.4～同副委員長、1999.4～同書記長(現在に至る)。1999.4～愛労連幹事(現在に至る)
23 "	杉江 功	知多地域労連	63	1963.8～自治労連県本部執行委員、公企評議長等歴任。現・知多労連専従役員。1999.9～愛労連幹事(現在に至る)
24 "	空 直樹	愛知国公	42	1995～1999 全法務名古屋支部副支部長、1999～2000 同中部地本副委員長。2000.～愛知国公副議長(現在に至る)
25 "	竹内 創	愛労連職員労組	33	1993.7～愛労連事務局員として勤務。1997.7～愛労連職員労組書記長(現在に至る)
26 "	田中 道代	愛労連職員労組	50	1997.7～愛労連職員労組組合委員長(現在に至る)。1997.9～愛労連幹事(現在に至る)
27 "	玉置 重光	千種・名東労連	38	1999.9～千種・名東労連事務局次長(現在に至る)。1999.9～愛労連幹事(現在に至る)
28 "	戸髭 佳代	婦人協(愛高教)	49	1992.4～1995.3、2001.4～愛高教女性部副部長(現在に至る)
29 "	仲野 智	福保労東海地方本部	30	1998.9～福保労東海地方本部副委員長、1999.9～同書記長(現在に至る)。1998.9～愛労連幹事(現在に至る)
30 "	原田 敏之	全日本金属愛知地方本部	58	1989.10～JMIU愛知地本執行委員。1994.9～同執行委員長(現在に至る)。1997.9～愛労連幹事(現在に至る)
31 "	堀 勝	名古屋中地域センター	58	1989.11～名古屋中地域センター事務局次長、1999.6～同議長(現在に至る)。1999.9～愛労連幹事(現在に至る)
32 "				
33 "				
34 会計監査	竹内 武弘	銀産労	56	銀産労中央執行委員(3期)、同東海地本執行委員長(2期)など歴任。2000.9～愛労連会計監査(現在に至る)
35 "	林 義博	名南地域労連	32	全国一般愛知県本あいち支部執行委員。名南地域労連事務局次長など歴任。2000.9～愛労連会計監査(現在に至る)
36 "	牧野 浩	愛知国公	47	全国税愛知支部副支部長、愛知国公幹事など歴任。1999.9～愛労連会計監査(現在に至る)

国鉄闘争はじめすべての争議の早期解決めざす決議(案)

依然として出口の見えない不況の中でも、規制緩和と市場開放、構造改革に「明け暮れる」自公保連立政権。団体生命保険で労働者の「生き死に」までも金儲けの手段にする大企業の横暴。リストラ「合理化」の嵐は、340万人以上という史上最悪の失業者をつくりだし、いままた、小泉内閣の公言する「2年以内に不良債権処理を完了」で、ニッセイ基礎研究所の試算では130万人もの失業者を新たに作り出す暴挙を強行しようとしている。

愛知でも、三菱自動車大江工場の閉鎖、UFJ銀行の発足にともなう東海銀行のリストラ計画、NTTの大「合理化」、史上最高の利益を上げたトヨタも大量のリストラをすすめており、雇用はもとより地域経済にも深刻な影響を与えている。中小企業の職場では親会社の横暴と銀行の貸し渋り、不況によって、経営危機を一層深めている。

こうした政府・財界の首切り「合理化」攻撃に抗して、たたかう労働者と労働組合は職場・地域から反撃のたたかいを拡大している。

国・被告企業の責任を認め、「公害差し止め」を命じた「あおぞら裁判」。「団体生命保険契約の主たる目的は遺族の生活保障」と明快な判決をださせた住軽金を相手の近藤裁判の勝利など、大きな前進をつくりだしてきた。

ITブームの陰に隠れた労働者の使い捨ては許さない、と立ち上がった全国一般・ヒット通商支部のたたかいなど、愛労連の労働相談110番への駆け込みをきっかけにしたたたかいはじめ、尾中労連や東三河労連、名中センター、港地区労など「地域の労働者は、地域で守る」と、1つひとつの争議を粘り強くたたかい、愛労連・地域労連への信頼も高めている。

この1年間では、建交労・丸中運輸と丸金運輸、日立争議、ニチメン争議の4件の争議が解決。新たに発生した争議を含め、現在、組織内外(愛労連が支援する県内争議)で23件の争議がたたかわれている。

分割・民営化から15年、重大な局面を迎えている国鉄闘争も、「JR・政府の責任で1047名の一括解決を」の要求を堅持してたたかいをすすめることが、いよいよ重要となっている。

いまこそ、愛労連に結集するすべての労働者・労働組合は、政府・資本の首切り「合理化」攻撃とのたたかいを強化するとともに、現に解雇・差別に真っ向からたたかっている労働者・争議団のたたかいを自らのものとして受け止め、たたかいの輪を広げることが求められている。

国鉄闘争をはじめとするすべての争議の1日も早い解決にむけ奮闘しよう。

以上、決議する

2001年7月8日

愛知県労働組合総連合第25回定期大会

労働者の「くらしと権利の確立」をめざし、「小泉人気」にごまかされず、職場・地域から政治の風を吹かし参院選勝利のために奮闘しましょう

組合員のみなさん。

参議院選挙は7月12日告示、29日投票でおこなわれます。「自民党政治を変える」というごまかしで登場した小泉首相。国民の80%を超える支持率という異常なまでの人気です。東京都議選でも「構造改革の断行」を絶叫し「痛みを恐れず」と公言してはばかりません。一体、小泉内閣が国民に押しつけようとしている「痛み」とは何でしょうか？

第1に「不良債権の早期最終処理」を強調していますが、これが方針どおり行われると20万社～30万社の中小企業が倒産に追い込まれ、100万人から150万人の失業者が新たに増えます。こんなことが強行されたら倒産と失業増で、景気回復どころか不況をますます深める内閣です。

第2に「自律・自助」の社会保障推進という「社会保障切り捨ての不安増大」内閣です。小泉さんが厚生大臣の時に打ち出した「21世紀の医療保険制度」案は、①お年寄りの自己負担は2割に。②サラリーマンの自己負担を3割に。③所得が低く医療費を払っていないお年寄りも含めて、新たに300万人から保険料を徴収する保険制度をつくる。というとんでもないものでした。

第3に「公共事業の見直し」といいますが、個別事業で見直しをするのではなく、これまでのムダで環境破壊につながるダム建設、干拓事業、高速道路などゼネコン優先の自民党流そのものです。そして消費税は「少なくとも14%は必要」と竹中経済財政担当大臣が平然という庶民泣かせの内閣です。

組合員のみなさん、私たちにはこんな痛みはいりません。

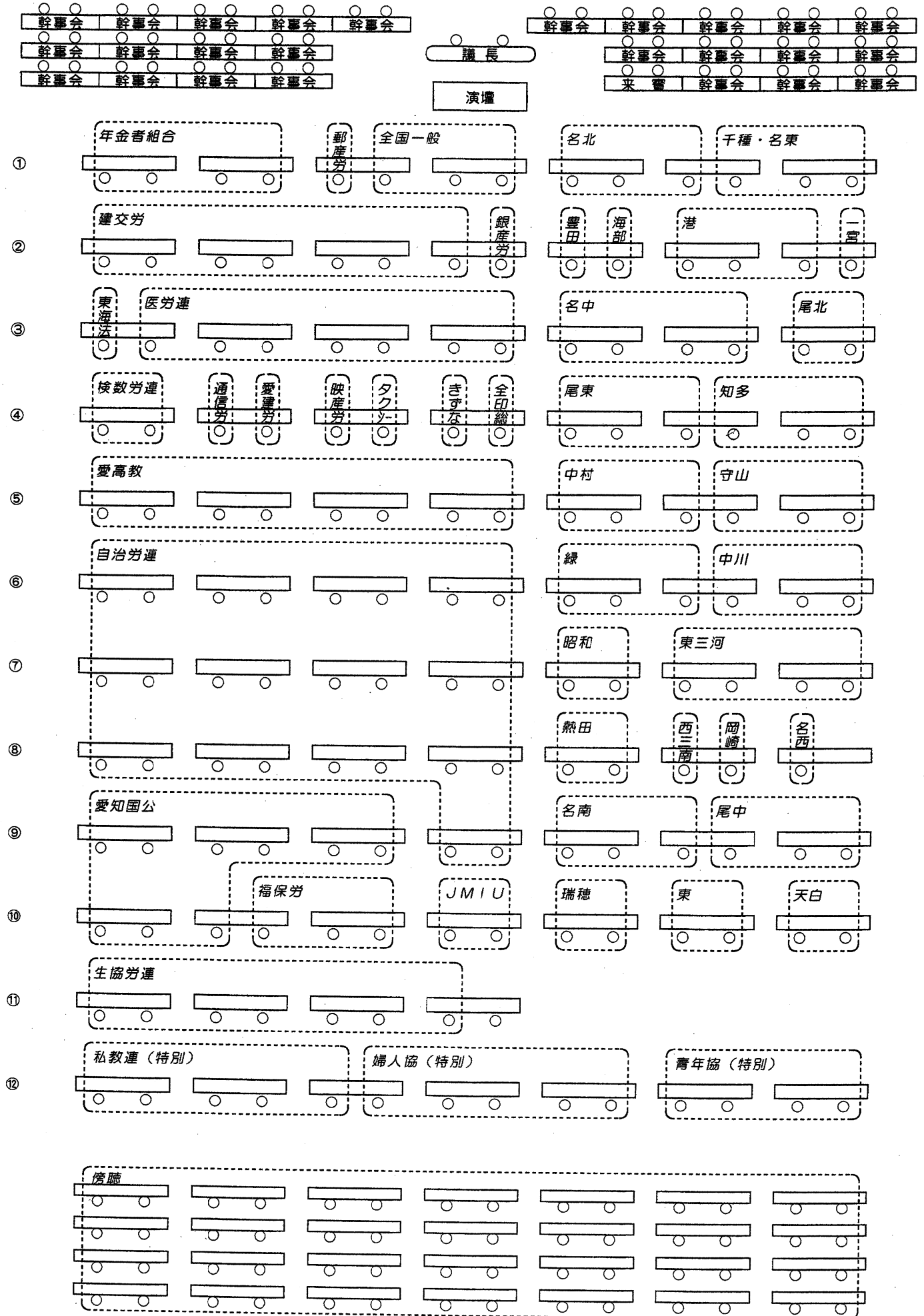
いま、日本経済は底知れない「不況と行き詰まり」に陥っています。そのもとで大企業の身勝手な労働者いじめと中小・下請いじめ、果てしない賃下げとリストラ、首切りなど賃金破壊と雇用破壊、さらには連続的な年金・医療・福祉の大改悪ですべての国民の生活破壊が横行しています。その攻撃の張本人こそ「小泉純一郎その人」であることを、職場・地域のすべての労働者に訴え、総対話で政治の風を吹かしましょう。

小泉内閣には、国民の願いに応える政治は絶対にできません。労働者・国民のくらしと福祉を優先する政治は、たたかってこそ実現できます。今度の参議院選挙では、愛労連のすべての仲間が選挙権を行使し、大きく流れをかえましょう。

2001年7月8日

愛労連第25回定期大会

愛労連第25回定期大会 座席配置図




多数のメッセージありがとうございました

日本ジャーナリスト会議東海
名古屋法律事務所
石川県労働組合総連合
愛知県平和委員会
京都地方労働組合総評議会
岐阜県労働組合総連合
愛媛地方労働組合連合会
国鉄労働組合名古屋地方本部
自由法曹団愛知支部
通信産業労働組合
名古屋南部法律事務所
原水爆禁止愛知県協議会
三重県労働組合総連合
福岡県労働組合総連合
愛知県公害患者の会連合会
名古屋あおぞら裁判原告団・弁護団
名古屋あおぞら裁判を支援する会
全国印刷出版労働組合総連合会
静岡県労働組合評議会
日本国家公務員労働組合連合会
愛知県教職員労働組合協議会
全労連・全国一般労働組合
全国生協労働組合連合会
日中友好協会愛知県連合会
富山県労働組合総連合
北海道労働組合総連合
神奈川県労働組合総連合

東海自治体問題研究所
愛知県民主医療機関連合会
長野県労働組合連合会
名古屋市高等学校教員組合
日本医療労働組合連合会
愛知県部落解放運動連合会
革新統一愛知懇談会
愛知県労働者学習協議会
全国自動車交通労働組合総連合会
道路公害反対愛知県民会議
愛知県保険医協会
全大阪労働組合総連合
日本ユーラシア協会愛知県連合会
日本国民救援会愛知県本部
全国検数労働組合連合
愛知県原水爆被災者の会
愛知労働問題研究所
名古屋第一法律事務所
群馬県労働組合会議
全日本教職員組合

(7月7日現在到着分・順不同)

 愛労連第25回定期大会